

令和6年度  
和歌山市社会教育委員

第2回定例会議議案書

日 時 令和6年7月25日（木）  
午後2時30分～午後4時30分（予定）

会 場 勤労者総合センター 6階 文化ホール

教育学習部 生涯学習課

## 第2回定例会議次第

1 開会

2 議題

(1) 令和7年度社会教育関係補助金要求(案)について

(2) 社会教育活動に対する壮年層へのアプローチの仕方について

(3) 令和5年度家庭教育支援基盤構築事業について

4 その他

5 閉会

議題(1)

令和7年度社会教育関係補助金要求(案) (生涯学習課)

(単位:千円)

款	目	名称	令和7年度 要求(案)	令和6年度 予算額	資料 (ページ)
教育費	生涯学習振興費	ユネスコ運営補助金	45	45	3
		P T A 育成補助金	727	727	4-7
		合計	772	772	

令和7年度の補助金の方針

ユネスコ協会については、コロナ禍で事業数が著しく減少した時期もありましたが、コロナの5類移行後は、活動もさかんになっています。ユネスコの「平和は人類の知的、精神的連帯の上に築かれなければならないという」理念に基づいた活動は本市としても推進していくべきと考えますので、令和6年度と同額とします。

また、P T A 育成補助金については、学校・家庭・地域の連携が必要とされる今の時代、学校と家庭をつなぐ重要な役割を果たしているP T A 会員が研修活動等により知識を深め、交流を図ることは今後も継続していくべきだと考えているため、令和6年度と同額としています。

したがって、生涯学習課の令和7年度補助金額要求(案)は、令和6年度予算額と同額である772,000円とします。

## ( 生涯学習 ) 課

補助金名	ユネスコ活動補助金
団体名	和歌山ユネスコ協会
団体会員数 (R6)	51名
根拠法令等	ユネスコ活動運営補助金交付要領
交付理由	貧困や差別、紛争の拡大、環境破壊など、世界中で様々な問題が発生している昨今において、平和や文化を愛する心を育むための地道な活動が必要になってきており、平和教育・次世代育成・災害時教育支援・世界遺産活動等を行っているユネスコ協会の活動は、本市の社会教育の推進に清しているため
交付に至った経緯	1948年から活動を続けてきている和歌山ユネスコ協会の実施する事業を支援することで、ユネスコ憲章に謳われている理念の実現を目指すため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	400,000	400,000
補助金額	45,000	45,000

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	平和の鐘打鐘会	世界平和を祈念、8月15日正午から黙祷、打鐘を実施する。	岡山時鐘堂
②	大晦日の鐘をつこう会	大晦日に、平和を祈念し、旧年を払い、新年を迎えるために参加者に鐘をついてもらう。	岡山時鐘堂
③	ピースウォーク	世界遺産「熊野古道」を歩き、平和文化創造のための理解を深めるために毎年コースを変え、実施	毎年コースは変わる (R6九度山)
④	書き損じはがき回収キャンペーン	教育の機会に恵まれてなかった大人たちの教育支援に役立てる目的書き損じはがき回収を行う。	
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事業費	平和の鐘PRグッズ購入等	①②③④

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>コロナ禍が明け、令和5年度より活動は通常に戻ってきており、令和6年度には、新たに市役所1階の「市民ギャラリー」にて世界遺産啓発活動を行うほか、ウクライナとロシア、イスラエルとガザの戦争状態を鑑み、和歌山ユネスコ協会が戦後まもなくやり始めて、全国に広がっていった「平和の鐘撞き」の県内一斉行動を11月に実施する予定。</p> <p>また、SDGsの目標16の「平和と公正をすべての人に」を機会あるごとに関係者等に説明するなど、和歌山市「SDGs未来都市」の周知、啓発等にも取り組んでいる。</p> <p>これらの活動は、全て会員による会費と市からの補助金のみにより運営されており、毎年度、予算の範囲内、時にはそれ以上の経費を使って実施しているものであり、今後の活動には市からの補助金は必要不可欠である。</p>
---

## ( 生涯学習 ) 課

補助金名	P T A 連合補助金
団体名	幼稚園 P T A 連合会
団体会員数 (R6)	2 8 7 人
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領
交付理由	園児の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化と地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	幼稚園運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、園児の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 7 年度	令和 6 年度
交付先団体予算額	未定	361, 832
補助金額	115, 000	115, 000

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	文化講演会	各園がいろいろな形で講演会を開催	各園
②	ふれあい訪問	各園を、希望園が訪問、意見交換をして交流する	希望園
③	スポーツ大会費	各園で、講師をよんだり、園独自で親子交流会を実施する。	各園
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
文化講演会費	各園で、講師をよんだり園長が講師となり、講演会を開催	①
ふれあい訪問補助費	各園を、希望園が訪問、意見交換をして交流する	②
スポーツ大会費	各園で、講師をよんだり、園独自で親子交流会を実施する。	③

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>コロナ禍が明けて1年が経ったことから、各園の P T A 活動はコロナ禍以前に実施していた活動を再開している。それに伴い、現在、各園独自で工夫した取組を計画立てており、今後実施していく予定。また、園児獲得又は園児数確保のため、独自の P R 活動も考えているところ。</p> <p>園児が少なくなってきた中、保護者からの会費も減少傾向であることから、活動経費の一部である市からの補助金は必要不可欠である。</p>
---

## ( 生涯学習 ) 課

補助金名	P T A 連合補助金
団体名	小学校 P T A 連合会
団体会員数 (R6)	16, 348名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	児童の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化、地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	小学校運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、児童の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 7 年度	令和 6 年度
交付先団体予算額	未定	2, 795, 506
補助金額	357, 000	357, 000

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	役員理事会	連合会役員、各 P T A 会長が一堂に集まり、連絡協議を行う。	市役所 14 階大会議室
②	小学校 P T A 研修会	6 分科会と全体会（講演会）「未来を担う子供たちが笑顔で過ごすことができるような環境づくりのための P T A 活動の改善、充実に努めること」を目的に研修会を開催。	北コミュニティセンター
③	連合会総会	年 1 回定例に開催、役員改選、決算報告、予算その他必要事項について審議を行う。	ホテルグランヴィア 和歌山 (R6)
④	近畿 P 研究大会	近畿から集まる P T A の仲間と、学びや体験を共有する。また、交流を通して縁をつむぐ。	R 6 近 P (大津)

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事務局費	事務用品（コピー用紙）等	①
総会費	総会議案書印刷、会場費等	③
各部補助金	5 1 小学校を 6 部に分け、各校に活動補助金として支払う。	①
研修費	見学研修費、近 P 交通費補助、研修会講師謝金、冊子印刷等	②④

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>コロナ禍では実施できなかった各種事業（総会、女性部研修、合唱祭、県指導者研修会、小学校 P 研修会等）が再開され、会員の参加が増えてきている。</p> <p>和歌山市の子供達の健全な育成のためには、P T A 活動は欠かすことができないものであり、P T A 会員相互の学びや日々の具体的な子育てについての交流、意見交換など、様々な形での交流活動が実現し、地域の活性化にも寄与している。</p> <p>このようなことから、P T A 活動の必要経費の一部として活用している和歌山市からの補助金は、今後も必要不可欠である。</p>
---

## ( 生涯学習 ) 課

補助金名	P T A 連合補助金
団体名	中学校 P T A 連合会
団体会員数 (R6)	7,447名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	生徒の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化、地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	中学校運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、児童の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 7 年度	令和 6 年度
交付先団体予算額	未定	1,909,223
補助金額	233,000	233,000

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	連絡協議会	連合会役員、各 P T A 会長が一堂に集まり、連絡協議を行う。年 3 回	市役所 14 階大会議室
②	シンポジウム	6 つの分科会に分かれ、他校の P T A の皆さんと共に P T A 活動や子供たちへの関わり、悩みなど、様々な意見交換、情報を共有する。	北コミュニティセンター
③	日 P, 近畿 P 研究大会	近畿、全国から集まる P T A の仲間と、学びや体験を共有する。また、交流を通して縁をつむぐ。	日 P (広島)、近 P (京都)

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
事務局費	事務用品 (コピー用紙)、事務局運営等	①②
行動費	日 P, 近 P 研究大会への参加者交通費補助	③

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>中 P 連合会では、コロナ禍でも、総会以外ほとんどの事業を実施してきたところ。毎年策定する実施計画に基づき、これまでも着実に事業を実施してきた。</p> <p>保護者と教員が互いに高め合い、子供達の健全な育成を支援する P T A 活動は、学校・家庭・地域を結ぶ架け橋として、重要な役割を担っており、地域の活性化にも大きく寄与している。</p> <p>生徒数が減り、活動費用も減っている中、和歌山市からの補助金は貴重な財源であることから、今後も引き続き、和歌山市からの支援をお願いしたい。</p>
---

## ( 生涯学習 ) 課

補助金名	P T A 育成事業
団体名	和歌山市立和歌山高等学校育友会
団体会員数 (R6)	757名
根拠法令等	和歌山市 P T A 育成補助金交付要領、和歌山市補助金等交付規則
交付理由	生徒の健全育成を願い、P T A 会員自身の教養を高め、会員相互の連携を深めるとともに、活動の活性化と地域の教育力の向上を図るため。
交付に至った経緯	高等学校運営に欠かせない P T A 活動を支援することは、生徒の健全育成はもとより、地域の教育力を向上させ、本市の社会教育の推進にとっても非常に重要な役割を果たしているため。

	令和 7 年度	令和 6 年度
交付先団体予算額	未定	22,934,430
補助金額	22,000	22,000

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	市高体育祭、文化祭	体育活動や文化活動の中で、生徒たちの相互の交流を図る。	運動場
②			
③			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
行事費	市高体育祭で、タオルと飲料を配布	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>コロナ禍で自粛していた体育祭、市高デパート、姉妹都市交流等の学校行事、育友会役員の各種研修参加などが再開され、コロナ禍以前のような活動を実施できている。なかでも、体育祭で配布する ICHIKO タオルは、生徒の一体感を生み出し、これをきっかけに生徒の行動が変わるなど、生徒の健全育成に大きな役割を果たしている。</p> <p>このようなことから、今後も引き続き、和歌山市からの補助金をお願いしたい。</p>
--

令和7年度社会教育関係補助金要求（案） （青少年課）

（単位：千円）

款	目	名称	令和7年度 要求（案）	令和6年度 予算額	資料 (ページ)
教育費	人権教育費	地域青年リーダー育成補助金	51	51	9
	青少年教育費	ボーイスカウト育成補助金	125	125	10
		ガールスカウト育成補助金	67	67	11
		ボーイスカウト和歌山地区キャンポリー開催補助金	0	500	—
		ガールスカウト65周年記念キャンプ参加補助金	0	150	—
		ボーイスカウト和歌山地区振興大会補助金	500	0	12
		合計	743	893	

令和7年度の補助金の方針

ボーイスカウト及びガールスカウトに対する補助については、ヒアリングの結果も含めると新型コロナウイルスの制限が緩和されたことにより、感染対策を講じながら活動できるようになりましたが、児童数の減少により団体の構成児童数そのものが減少となっております。しかしながら、子供・若者の健全な育成と青少年教育の振興を目的とした活動団体であるため支援する必要があると思われます。地域青年リーダー育成補助金についても、地域づくりの一翼を担っていることから、引き続き補助が必要であると思われます。

ボーイスカウトの開催補助金については、4年に1度ずつ異なる内容で補助金を要求するため、令和7年度は和歌山地区キャンポリー開催補助金に代わり振興大会補助金を要求する予定です。

ガールスカウト65周年補助金は周年記念の補助金であるため、皆減されます。

したがって、青少年課の令和7年度の補助金（案）については、令和6年度予算額から150千円の減額要求となる予定です。

( 青少年 ) 課

補助金名	地域青年リーダー育成補助金
団体名	杭ノ瀬地区青年団
団体会員数 (R6)	33名
根拠法令等	和歌山市地域青年リーダー育成補助金交付要綱
交付理由	人権問題の解決を目指し、地域青年団の育成を積極的に推進する事業への補助。
交付に至った経緯	高等学校の生徒や、その年代を中心とする青少年が地域づくりの担い手として地域参加促進を図ることの重要性を考慮したもの。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	125,000	125,000
補助金額	51,000	51,000

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定例会	部落問題に関する学習会や事業の準備・打合せ	杭ノ瀬児童・地区福祉センター
②	地区内ボランティア活動	子ども会行事(夏まつり)への参加・指導	杭ノ瀬児童・地区福祉センター
③	研修会	他の部落青年団体との研修会への参加	東京都千代田区

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
教材費	部落問題学習会に係る教材費用	①
交通費	研修会参加に伴う交通費	③
食糧費	夏まつり参加・指導時の食事代	②

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

地区のまつりには多くの会員が参加し、行事の運営や準備・片付けを行うことで地域づくりの一翼を担っている。 また、毎月の定例会では、人権問題の解決を目指して、会員同士で知識を高める活動を行っているとのこと。
--

( 青少年 ) 課

補助金名	ボーイスカウト育成補助金
団体名	日本ボーイスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R6)	297名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業 に対する補助。
交付に至った経緯	ボーイスカウトの活動を補助することで、和歌山市の青少年 教育を発展させるため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	250,000	250,000
補助金額	125,000	125,000

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	なかよしまつり	市のこどもまつり、パレード参加 に参加し、組織のPRにつなげる。	和歌山城周辺
②	BSラリー	ハイキングとゲーム等を通じ各団 の交流と仲間意識の醸成を図る。	せせらぎ公園周辺
③	ビーバーディ・カブラリー	ボーイスカウトが集まり、日頃訓 練している技能の競争を通じ一層の 向上意識を育てる。	二の丸庭園
④	和歌浦ベイマラソン奉仕	ベイマラソンのスタート補助をす る	マリーナシティ
⑤	ベーデン・パウエル祭 (BP祭)	創始者の生誕の祝いと野外活動 (ハイキング)を通じ、仲間意識と 組織のPR拡充を図る。	西の丸広場

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
消耗品費	参加章、工作材料等	②③⑤
食糧費	奉仕者の飲み物、昼食費	①④
委託費	会場看板・掲示物設置	①②③⑤
印刷製本費	イベント配布用資料・パンフレットの印刷	①②③⑤

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

児童数の減少により団体の構成児童数は減少傾向にあるものの、青少年の健全育成と青少年教育の振興のため、感染対策を講じながら活動を続けている。
---

( 青少年 ) 課

補助金名	ガールスカウト育成補助金
団体名	ガールスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R6)	144名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業 に対しての補助。
交付に至った経緯	ガールスカウトの活動を補助することで、和歌山市の青少年 教育を発展させるため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	134,000	180,000
補助金額	67,000	67,000

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	なかよしまつり	市のこどもまつり、パレード参加 に参加し、組織のPRにつなげる。	和歌山城周辺
②	ジュニアキャンプ	野営の訓練を中心にスカウト同士 の友情を深め、協力する精神を養 う。	紀北青少年の家
③	入会入団説明会	広報活動を行い、会員の拡大につ なげる。	北コミュニティセン ター
④	花ブラウニーキャンプ	小学3年生のスカウトを対象と し、日頃の訓練の成果を確認し交流 を深め、ジュニア部門へフライアッ プする意欲を高める。	青少年国際交流セン ター

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
印刷製本費	体験集会チラシ印刷等	①③
教材費	キャンプ参加費補助	②④
消耗品費	コピー用紙、インクカートリッジ等	③
交通費	駐車場代等	①③
食糧費	行事用お菓子、キャンプ食費等	①②③

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

児童数の減少により団体の構成児童数は減少傾向にあるものの、青少年の健全 育成と青少年教育の振興のため、感染対策を講じながら活動を続けている。
---

( 青少年 ) 課

補助金名	ボーイスカウト和歌山地区キャンポリー開催補助金
団体名	日本ボーイスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R6)	297名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業 に対しての補助。
交付に至った経緯	ボーイスカウトの地区キャンポリー開催を補助すること で、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	0	1,500,000
補助金額	0	500,000

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	地区キャンポリー	地区内のビーバーからロー バースカウトまでが一堂に会 し、キャンプ生活を通じ、技能 訓練と併せ組織のPR充実拡大 を図る。	せせらぎ公園
②			

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
食糧費	大会参加者の食材、お茶等	
消耗品費	参加記念品 (キャップ、ワッペン) 等配布用品	
印刷製本費	大会資料、案内、ちらし等の印刷	
備品購入費	プログラム実施に必要な訓練資 材等の購入	

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>4年に1回、ボーイスカウト和歌山地区協議会加盟各団のスカウトが一堂に会したキャンプ大会を行う。 大会を通じスカウト相互の友誼を深めるとともに、和歌山地区におけるボーイスカウト運動の振興を図っている。</p>
--

( 青少年 ) 課

補助金名	ガールスカウト和歌山65周年記念キャンプ参加補助金
団体名	ガールスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R6)	144名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業 に対しての補助。
交付に至った経緯	ガールスカウトの65周年記念キャンプを補助すること で、和歌山市の青少年教育を発展させるため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	0	810,000
補助金額	0	150,000

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	ガールスカウト和歌山 65周年記念事業 記念キャンプ	65周年を記念し、ガールスカウトの重要な教育方法の一つである自然、野外での活動を通し友情を深める。	国立淡路青少年交流の家
②			
③			

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
食糧費	非常食、水	①
旅費交通費	実行委員会への参加に伴う交通費等	①
通信費	キャンプ冊子郵送等	①
消耗品費	キャンプ訓練用の消耗品	①

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

5年に1度の周年を記念する大会を開催し、参加者同士の友情を深め、ガールスカウト活動の振興を図っている。
---

( 青少年 ) 課

補助金名	ボーイスカウト和歌山地区振興大会補助金
団体名	日本ボーイスカウト和歌山地区協議会
団体会員数 (R6)	297名
根拠法令等	社会教育関係団体補助金交付要綱
交付理由	野外活動や奉仕活動を通じて青少年の健全育成を図る事業 に対しての補助。
交付に至った経緯	ボーイスカウトの振興大会開催を補助することで、和歌山市の 青少年教育を発展させるため。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	1,000,000	0
補助金額	500,000	0

#### 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	ボーイスカウト振興大会	和歌山地区のスカウト及び関係者が一堂に集まり、創始者 ベーデン・パウエルの生誕を祝うとともに、活動を通じ、仲間の 親交と拡大、地域の活性化について考える。	和歌山城ホール (予定)

#### 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
食糧費	飲み物	①
消耗品費	参加記念品、顕彰商品、軍手・ ごみ袋等消耗品	①
印刷製本費	新聞広告、PRちらし、資料等の 印刷	①
謝金	講師謝金等	①
委託料	看板、プラカード作成等の委託	①

#### 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

4年に1回、和歌山地区のスカウト及び関係者が一堂に集まり、創始者ベーデン・パウエルの生誕を祝う大会を行う。 大会を通じスカウト相互の友誼を深めるとともに、和歌山地区におけるボーイスカウト運動の振興を図っている。
--

## 令和7年度社会教育関係補助金要求（案）（文化振興課）

（単位：千円）

款	目	名称	令和7年度 要求（案）	令和6年度 予算額	資料 （ページ）
総務費	文化振興費	和歌山児童合唱団定期演奏会事業補助金	100	100	14
		和歌山市民合唱団発表会事業補助金	95	95	15
		総合文化事業補助金	250	250	16
		視覚障害者文化振興事業補助金	95	95	17
		和歌山市民オペラ振興事業補助金	100	100	18
		紀州民芸盆栽協会育成事業補助金	35	35	19
		和歌山市交響楽団育成事業補助金	240	240	20
		和歌山市吹奏楽団育成事業補助金	120	120	21
		和歌山市合唱団協議会育成事業補助金	240	240	22
		合計	1,275	1,275	

### 令和7年度の補助金の方針

文化振興補助金は、音楽や美術展覧会など、市民に広く文化芸術の鑑賞を提供することを目的とし、本市において活動する各分野を代表する文化団体主催の文化振興事業に対し補助金を交付しているものです。

また、本市として、和歌山市文化芸術基本条例にある文化芸術を通じて文化芸術に親しむ人の裾野を広げ、誰もが郷土に誇りと愛着を感じ、心豊かで生きる喜びが実感できるまちを推進していくという方針に則り、その中核事業として文化団体活動支援事業を継続していくものです。

補助金額に、令和7年度の事業に要する事業費が今年度と同規模であるとのことから、令和7年度も本年度と同額としています。今後も会員数や観客数の増減といった変化の把握に努め、本市の文化振興に対する影響について検討を続けます。

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山児童合唱団定期演奏会事業補助金
団体名	和歌山児童合唱団
団体会員数 (R6)	80名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山児童合唱団に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	894,000円	894,000円
補助金額	100,000円	100,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山児童合唱団定期演奏会事業	児童による合唱演奏会	和歌山城ホール
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	合唱演奏会会場の借上料	①
印刷製本費	チラシ、チケット、プログラム作成	①
通信運搬費	案内状、お礼状等の送付	①
著作権料	楽曲の著作権料	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>児童による合唱演奏会を定期的に催すことで、和歌山で育つ子ども達が、合唱を通じて、より一層地域に愛着を持ち、また文化の発展に貢献しようとするようになるなど、将来に渡って文化振興に資する事業である。</p> <p>過去から継続的に事業を継続している団体であり、今後も引き続き児童による合唱演奏会を開催する予定となっています。</p>
---

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山市民合唱団発表会事業補助金
団体名	和歌山市民合唱団
団体会員数 (R6)	30名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市民合唱団に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	968,000円	968,000円
補助金額	95,000円	95,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山市民合唱団発表会事業	年1回開催の混声合唱発表会	和歌山城ホール
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	発表会場等の借上料	①
舞台技術料	和歌山城ホール備品等利用料	①
印刷製本費	パンフレット作成	①
通信運搬費	案内状等送付料	①
著作権料	演奏、プログラム掲載著作権料	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

過去から継続的に定期公演を行っている団体であり、年に1回、混声合唱の発表会を行っている。様々な合唱曲を発表会にて披露し、合唱の楽しさを伝え、地域に合唱文化を広めるため事業を行っている。コロナ禍においては、一時観客数が減るなどコロナの影響があったが、現在はコロナ前の水準に回復し、発表会にも多くの方が来場されている。今後も合唱文化を広めるため、事業を継続する予定となっています。
--

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	総合文化事業補助金
団体名	和歌山文化協会
団体会員数 (R6)	270名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山文化協会に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	3,351,000円	3,351,000円
補助金額	250,000円	250,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	総合文化事業	美術展や演劇公演など	和歌山城ホール
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	展示・演劇会場の借上料	①
舞台技術料	和歌山城ホール備品等利用料	①
印刷製本費	パンフレット等作成	①
通信運搬費	案内状等送付料	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>地域の文化発展と向上を目的とする美術展や演劇公演の開催、出版物の刊行等の文化活動を古くから実施している。協会には、「華道部」、「吟詩部」、「茶道部」、「詩舞映画演劇部」、「生活文化国際交流部」、「美術工芸部」、「文芸部」、「邦楽舞踊部」の8つの部門があり、所属する会員は文化芸術に造詣が深い者が多く、複数の芸術分野において、地域の文化振興に貢献している。複数の芸術分野にて行う総合文化事業について、今後も積極的に行っていく予定です。</p>
---

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	視覚障害者文化振興事業補助金
団体名	和歌山市視覚障害者福祉協会
団体会員数 (R6)	80名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市視覚障害者福祉協会に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	218,000円	218,000円
補助金額	95,000円	95,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	視覚障害者文化振興事業	料理教室、手芸教室や点字教室等	ふれ愛センター
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
舞台技術料	教材作成費用	①
印刷製本費	資料作成	①
通信運搬費	サーバー使用料	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

視覚障害者が、文化的で情操豊かな精神を培うことを目的とした文化活動を古くから行っており、その活動は地域の視覚障害者が参画する文化芸術の振興に大きく貢献してきた。コロナ禍では、活動を縮小するなどしていたが、現在は回復しつつあり、今後も視覚障害者を対象とした文化活動に取り組んでいくとのこと。
--

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山市民オペラ振興事業補助金
団体名	和歌山市民オペラ協会
団体会員数 (R6)	43名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市民オペラ協会に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	7,000,000円	7,000,000円
補助金額	100,000円	100,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山市民オペラ振興事業	オペラ定期公演	和歌山城ホール
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	公演会場、練習会場の使用料	①
舞台技術料	舞台設備等の使用料	①
印刷製本費	プログラムやチラシの作成費用	①
通信運搬費	チラシ等の郵送費用	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>本格的なオペラを地域で鑑賞できるようにと活動を長く続けてきた団体で、独自の創作オペラを公演することによって、オペラを地域に広めるなど文化振興に大きく貢献している。年に1回、定期公演を開催しており、コロナ禍では公演を中止するなどのコロナによる影響が大きく出ていたが、回復しており、今後もオペラ文化を広めるため活動を行っていく。</p>
---

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	紀州民芸盆栽協会育成事業補助金
団体名	紀州民芸盆栽協会
団体会員数 (R6)	55名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている紀州民芸盆栽協会に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	485,000円	485,000円
補助金額	35,000円	35,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	「花と心のたび」展	展示会の開催	和歌山県公館
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場及び備品使用料	①
舞台技術料	会場設営費	①
印刷製本費	案内状作成費等	①
通信運搬費	案内状送付	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

和歌山の花の文化を広め、社会に貢献することを目的とした団体で、和歌山市内の様々な場所で教室を開催しており、地域の工芸文化の向上と指導者育成に取り組んでいます。長期にわたって継続的に、教室や展示会を開催しており、地域の文化振興への貢献が大きい団体である。
--

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山市交響楽団育成事業補助金
団体名	和歌山市交響楽団
団体会員数 (R6)	80名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市交響楽団に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	950,000円	950,000円
補助金額	240,000円	240,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定期演奏会	定期演奏会	和歌山城ホール
②	和歌山市交響楽団・市響合唱団演奏会	定期演奏会	和歌山城ホール
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場使用料等	①②
舞台技術料	設備利用料	①②
印刷製本費	パンフレット、チラシ等作製	①②
通信運搬費	案内状等送付	①②
著作権料	楽曲使用料	①②

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>幅広い年齢層の楽団員約80名を擁する規模の大きい市民オーケストラであり、楽団の定期演奏以外にも、他の文化団体や地域の芸術家と連携するなど、地域の文化振興への貢献が非常に高い。定期演奏会は年に2回開催されており、コロナ禍では事業中止などコロナの影響を強く受けていたが、現在はコロナ前以上の集客を達成するほど回復している。今後も積極的に文化活動を行っていく予定である。</p>
---

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山市吹奏楽団育成事業補助金
団体名	和歌山市吹奏楽団
団体会員数 (R6)	50名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市吹奏楽団に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	1,194,000円	1,194,000円
補助金額	120,000円	120,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	定期演奏会	年2回実施される定期演奏会	和歌山城ホール
②			
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	会場使用料等	①
舞台技術料	設備利用料	①
印刷製本費	パンフレット、チラシ等作製	①
通信運搬費	案内状等送付	①

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

吹奏楽を通じて市民の情操育成と明るいまちづくりに寄与することを目的とした活動を長期に渡って行ってきた団体であり、地域の文化振興に大きく貢献している。年2回の定期演奏会は、コロナ禍では中止するなど、コロナの影響を強く受けていたが、現在はコロナ前の観客数を上回るほど盛況である。定期演奏会を継続する予定であり、今後も文化振興への貢献が見込まれる。
---

## ( 文化振興 ) 課

補助金名	和歌山市合唱団協議会育成事業補助金
団体名	和歌山市合唱団協議会
団体会員数 (R6)	500名
根拠法令等	和歌山市補助金等交付規則、文化振興補助金交付要綱
交付理由	和歌山市にて活動を行う文化団体であり、市民に広く文化芸術の鑑賞の場を提供しているため。
交付に至った経緯	心豊かな市民生活および活力ある地域社会の実現に寄与するため、市内で広く文化芸術活動を行っている和歌山市合唱団協議会に補助金を交付することとした。

	令和7年度	令和6年度
交付先団体予算額	590,000円	590,000円
補助金額	240,000円	240,000円

## 補助対象事業

	事業名	事業概要	会場
①	和歌山市合唱団協議会育成事業	出演者数約500名の公演	和歌山城ホール
②	合唱研修会	著名な指導者による研修会	中央コミュニティセンター
③			
④			
⑤			

## 補助対象経費

費目	詳細	対象事業
会場その他借上料	合唱演奏会会場の借上料	①②
舞台技術料	和歌山城ホール備品等利用料	①
印刷製本費	チラシ、プログラム作成	①②

## 補助事業の執行状況についてのヒアリング結果

<p>定期公演、市の文化事業である市民文化まつりへの参加や合唱に関する研修会を開催するなど、地域の合唱文化の振興及び向上に関し、継続して多大な貢献がある。コロナ前に比べ、会員数が減少しているが、約500名の会員を擁する大規模文化団体であり、地域の文化振興を牽引する重要な文化団体となっている。</p> <p>定期公演については、次年度以降も和歌山城ホールにて実施していく予定である。合唱研修会については、会場の変更など経費削減の取組みが確認されている。</p>
--

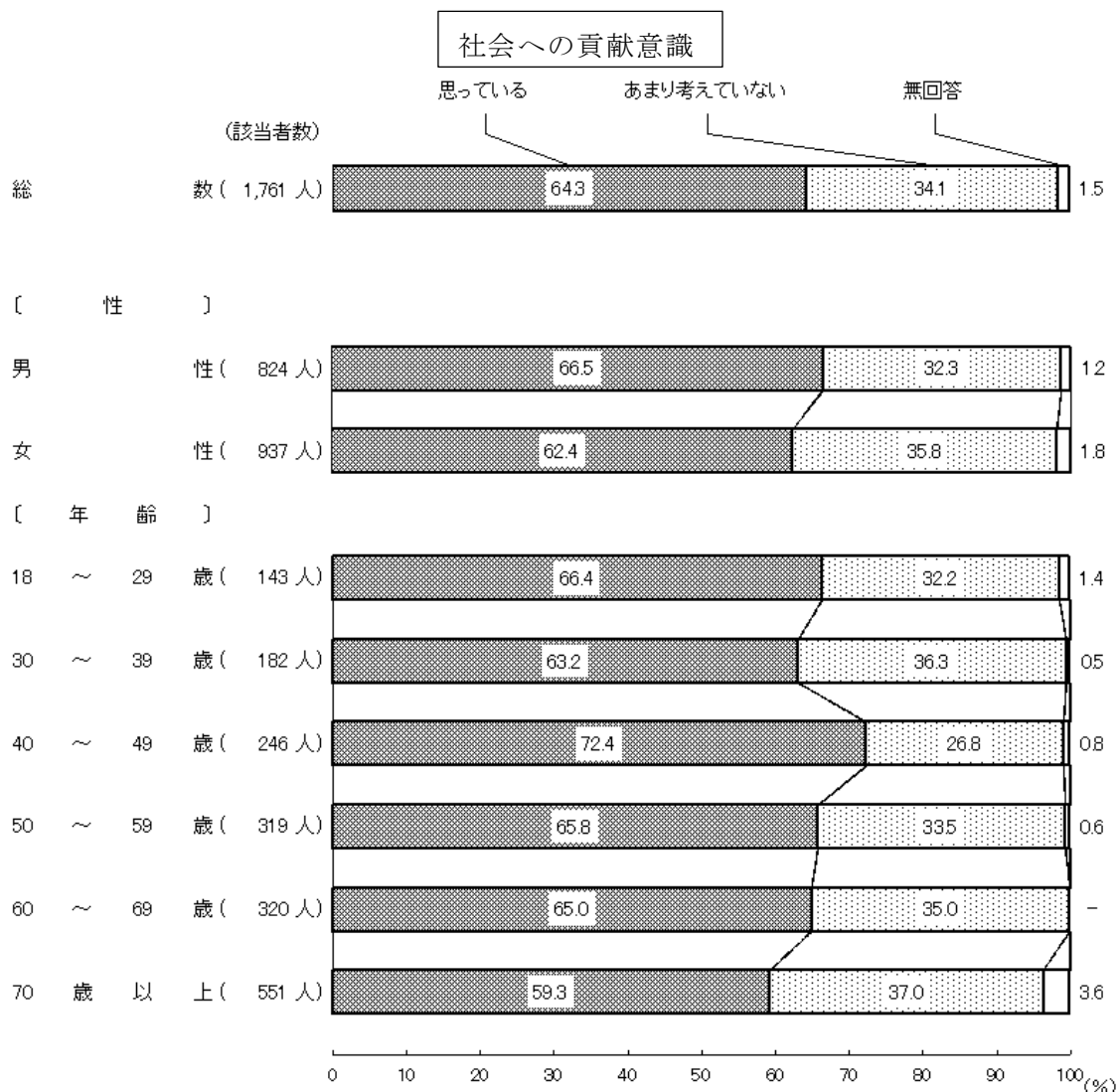
## 社会教育活動に対する壮年層へのアプローチの仕方について

### 1. 現状と課題について

社会教育関係団体には、地域づくりにつながる地域課題解決に関わることが期待されている。しかし、近年では、会員数の減少や高齢化が進んでいる団体が多くあり、地区での活動を維持していくことが困難なものとなり、解散する団体も見受けられるような状態である。

これらを解決するためには、新たな活動の担い手の確保、特に壮年層を呼び込むことが重要になってくるのだが、価値観の多様化により、壮年層は社会教育活動に参画する機会が減っている。

ところが、「社会意識に関する世論調査（令和4年12月調査）」によると壮年層のうち、60%以上の人が社会に貢献したいと思っていると回答している。つまり社会貢献意識を持っている人は少なくないが、実際に活動するに至っていないということになる。



内閣府「社会意識に関する世論調査（令和4年12月調査）」より

## 2. アプローチの仕方について

活動への参画に至らない理由としては、次のような思いがあるからと考えられる。

- (1) 一人で活動に参加するのは不安である。
- (2) 仕事や子育てと両立できるか不安である。
- (3) 緩くなら関わりたいが、濃く関わることは負担になる。
- (4) 活動の情報が上手く伝わってこない。
- (5) 何から始めて良いかわからない。

などなど…

そこで、どのようにアプローチしていくか、事例なども参考に考える。

### 【事例①】「コミュニティJr（大阪府枚方市菅原東校区）」について

#### ●コミュニティJr（ジュニア）とは

年齢層：30代から40代くらい

会員数：20名程度

経緯：PTA等の社会教育団体での任期を終え、役職等を退いた後も地域に関わりつづけたいと思う人は、総じて「所属団体なしのボランティアとして参加するのは勇気がある」という状況にあることから、その人たちに気軽に地域活動の担い手として活躍してもらう任意団体として立ち上がった。

活動：若い人たちが緩く地域と関われる組織となっており、例えば、地域イベント開催にあたり、普段の会合等には参加せずにイベント当日のお手伝いだけ参加するなど、気ままに地域と関わるができる。



### 出来る範囲での活動なので、若い人が参加しやすい

#### ●タテの関係からヨコの関係へ

壮年層の地域活動参加を促すには、地域団体の意識の変化も必要となる。「自分たちの世代と同じくらい地域のために汗を流すべき」というタテの関係を構築しようとすると、担い手の育成確保にはつながらない。緩くでも関わりを持ち、地域を思ってくれているだけでも良いことだという思考を持ち、世代間の多様な価値観を尊重するようなヨコの関係づくりが有効となる。「コミュニティJr」はその一例である。

菅原東校区における地域づくりにおいて、重要な役割を果たしているのがコミュニティ Jr（ジュニア）たちです。地域にはさまざまな団体があり、地域住民が持ち回りで役職を担っていますが、多くは1年もしくは2年任期で交代してしまいます。とくに若年世代（働いている層）のうち、はじめて地域に関わる人たちにとってはイベントをはじめとする地域活動や地域のつながりを知る機会になっており、役職を退いたあとも地域に関わりつづけたと思う人は少なくないようです。とはいえ、各団体から選出された方々で取り組むことの多い地域活動に所属団体なしのボランティアとして参加するのは勇気がいる…、ということで、コミュニティ Jr という任意団体を立ち上げ、地域活動の担い手として活躍してもらうようになりました。

現在では、30代から40代くらいの地域住民が、性別を問わず、20人ほどコミュニティ Jr として活動しているそうです。コミュニティ Jr のメンバーたちも、地域に友人ができたと喜んで、行事のあとの懇親会を含め、地域活動を楽しんでいます。

（「枚方市高齢者居場所づくり事業 インタビュー調査 報告書」より引用）

## 【事例②】「今福おこし（和歌山市今福地区）」について

### ●きっかけ

かつては地域の憩いの場であった銭湯だが、生活様式の変化に伴い利用客は減少している。しかし、令和3年度の六十谷水管橋破損により、断水が発生した際に、入浴に困った人々を支えたのは、地域の銭湯だった。断水は、地域住民が地域の社会資源の大切さを再認識する機会となった。

このことが契機となり、新たな地域活動を創出する仕組みとして地域住民が主体となって「今福おこし」を発足させた。

### ●活動内容

地区社協、自治会、民生委員、PTA役員、小学校長、近隣社会福祉施設などの地域主体、理学療法士などの専門職、県外大学の教員及び学生などがそれぞれの立場から今福地区を盛り上げるためのアイデアを持ち寄り、活発な意見交換を行っている。

そして、小学校や銭湯を活用した地域交流イベントを複数回実施しており、今後も銭湯のプラットフォームとしての機能を高め、多様な地域主体の出会いを誘発し、地域活動を創出することが期待されている。



**多様な主体が連携できている**

### 3. 実践に向けた取組みについて

和歌山市高松地区においても、地域の活動をより持続可能なものとするため、壮年層をターゲットにした取組みがスタートしようとしています。本取組みに委員の皆様との関係団体等が参画することで、よりよい効果が発生することが期待できます。

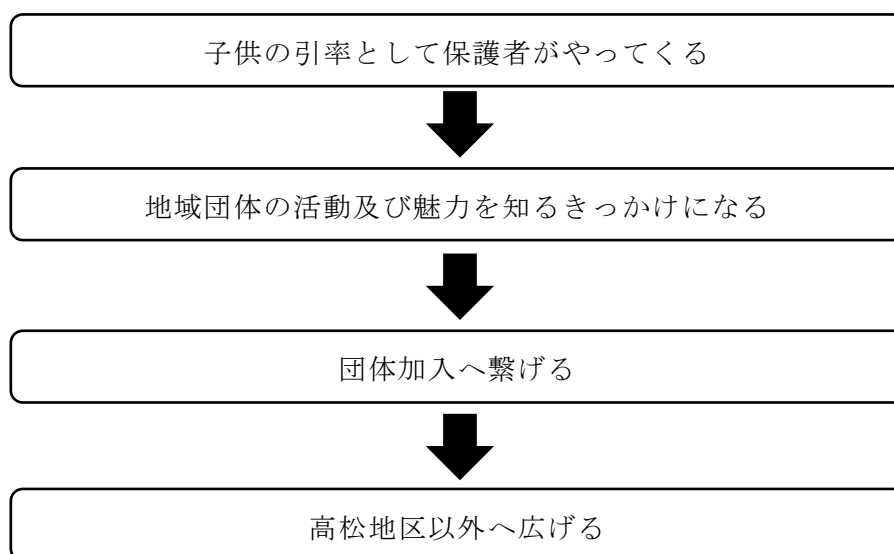
名称：「みんなの夏休み」

概要：高松第1区自治会の地域資源である「新堀自治会館」および「新堀児童遊園」を活用し、夏休み期間中の子ども（主に小学生を想定）が、勉強（夏休みの宿題）、世代間交流（昔遊びなど）、スポーツ（ボッチャなど）を楽しむことのできる居場所づくりに取り組む。

日時：令和6年8月4日（日）、9日（金）、18日（日）9：30～15：00

場所：新堀自治会館・新堀児童遊園

**壮年層参画との関連性：運営ではなく、まずは参加するところから**



令和6年度及び令和7年度の共通テーマである『社会教育活動に対する壮年層へのアプローチの仕方について』は、地域の社会教育活動をいかにして、持続可能なものにしていくかが、ポイントであることから、上記取組みは、壮年層にも参画しやすい仕組みであり、モデルケースの一つとして考えられる。



子どもが主役！

なつやす

# みんなの夏休み

8月4,9,18日

9:30~15:00

@新堀自治会館・新堀児童遊園

参加費  
無料

対象：高松第1区自治会に在住の小学生とそのご友人



みんなで宿題

大学生といっしょに  
夏休みの宿題を  
がんばろう！



昔遊び体験

地域の人に  
竹とんぼづくりを  
教えてもらおう！



ポッチャ大会

豪華景品あり！？  
学年を問わず  
みんなで楽しもう！

※昼食におにぎり（市販）を準備しています

主催：高松第1区自治会「みんなの夏休み実行委員会」

協力：摂南大学現代社会学部FAL和歌山市チーム

お問合せ：『お問合わせフォーム』よりお願いします

（第1区16班／摂南大学現代社会学部 上野山裕士）

参加申し込み  
フォーム



お問合わせ  
フォーム



### 議題(3)

#### 【地域における家庭教育支援基盤構築事業】(国庫補助金)

担当課 : 生涯学習課

#### ○事業の目的

全ての親や保護者の方々が安心して子育てについて学び、語り合い考えることのできる学習機会の体制を整備し、家庭教育支援サポーターによる活動が広く展開されることを目的としています。

#### ○令和5年度決算

		予算	決算
補助対象経費		449,683円	217,352円
補助金額(補助対象経費の1/3補助) ※千円未満切り捨て		149,000円	72,000円
内訳	講師謝金	136,000円	86,380円
	費用弁償	円	円
	消耗品費	1,000円	円
	食糧費	円	円
	傷害保険料	円	円
	業務委託料	216,923円	76,532円
	会場借り上げ料	95,760円	54,440円

#### ○令和5年度事業

- ・和歌山市家庭教育支援庁内連絡会議

日程	5/19,2/14	会場	教育文化センター大会議室
概要と成果	家庭教育の現状及び令和5年度の事業報告を実施。家庭教育支援実施計画の策定について話し合いが行われた。和歌山市家庭教育支援アドバイザーとして畑上智津子氏が選定された。		

- ・和歌山市家庭教育支援サポーター養成講座

日程	11/7,11/8,11/14,11/15	会場	紀の国住宅東部コミュニティセンター
概要と成果	保護者のみなさんが、安心して子どもを育て応援していけるよう、ワークショップの開催や、相談等を行うサポーターを養成する講座を実施。令和5年度は12名の新規登録があり、令和6年6月1日現在、サポーター登録者は46名。		

## 社会教育委員名簿

氏名	所属
岩橋延直	公民館連絡協議会
上野山裕士	摂南大学
芝田史仁	和歌山信愛女子短期大学
谷澤輝也	和歌山青年会議所
寺上円女	小学校長会
中谷章	小学校PTA連合会
藤村利行	わかやまスポーツ伝承館
溝渕俊二	中学校長会
宗真紀子	婦人団体連絡協議会
柳瀬芳昭	人権委員会
山本美保	子ども会連絡会
吉橋健一	中学校PTA連合会

(氏名50音順)

新しい風、生涯学習。



生涯学習のマスコット “マナビィ”

和歌山市教育委員会

生涯学習課

TEL:073-435-1138

FAX:073-435-1176